

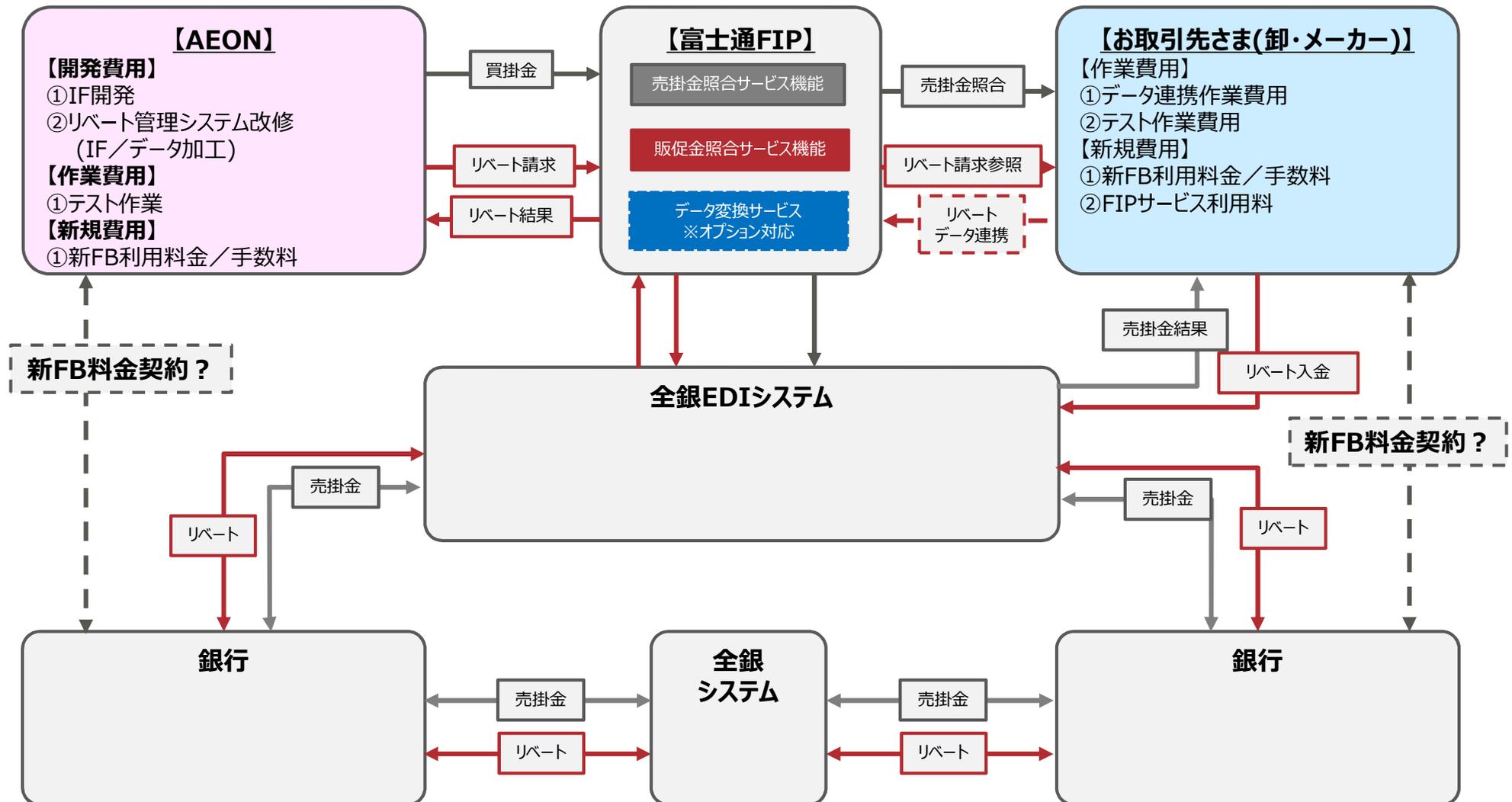
全銀EDI対応について

2019年1月29日

イオンアイビス株式会社

1. 全銀EDIシステム対応について【全体概要図】

- ① 全銀EDIシステムとの連携については、弊社流通BMSベンダーである、富士通FIP社とデータ連携を構築する予定です。
- ② 対象データは、卸との売掛金入金データ連携とメーカーとのリポート代金入金データ連携の2種類を対象とします。



1. 全銀EDIシステム対応について【主な課題】

(1)リベート代金入金データシステム対応

- ① グループ事業会社※30社との、リベート代金の入金消込プロセスの変更。各社説明会の実施。
- ② 対象メーカーへの流通BMS加入促進実施。（現在、流通BMSは卸のみ接続実施している為）
- ③ 会計システム(SAP)とのデータ連携方法確立。消込機能の改修。

(2)売掛金入金データシステム対応

- ① 効果測定実施。現状FB費用との利用料比較実施。
- ② 利用料の決定。
- ③ 対象取引先への利用促進。説明会開催。
- ④ 会計システムからのデータ連携処理構築。

※リベート対象企業

事業	会社数	会社
GMS事業	11社	イオンリテール、イオンリテールストア、イオン北海道、イオン九州、イオンストア九州、イオン琉球、イオンリカー、イオンバイク、トップバリュコレクション、サンデー、イオンスーパーセンター
SMDS事業	19社	ダイエー、MV西日本、MV東北、MV東海、MV中部、MV北海道、MV九州、MV関東、MV長野、MV北陸、MV南東北、光洋、山陽マルナカ、マルナカ、イオンマーケット、イオンビッグ、アコレ、まいばすけっと、ROU

2. 消費税増税対応

2019年度消費税対応では、「**本体価格管理**」を前提としたシステム対応を実現します。

また、複数税率導入に伴い、従前の「**部門別の税率管理**」から「**単品別の税率管理**」を可能とします。

		システム対応内容	現状	対応後
19年3月対応	【1】	売価管理 (商品マスタ・発注・仕入・レシート・売上・会計等に関わる全ての売価)	総額管理	「本体価格管理」を前提としたシステム対応 ✓ マスタ売価、店内表示物の本体化 (小数点第2位の価格表記含む) ✓ 売上、発注・仕入、在庫管理の本体化
	【2】	表記物への対応 レシート・プライスカード・計量機・チラシ・カタログ・EC・画面等		
19年10月対応	【3】	複数税率対応	一律税率 (8%)	複数税率への対応 ✓ 複数税率導入 (8%・10%) ✓ イートインの対応 (販売時点での税率識別)
	【4】	消費税率の コントロール単位 (税率判断基準)	部門単位での税率管理	単品単位での税率管理 ✓ マスタ、PLUでの単品税率識別対応 ✓ 売上計上単位の変更 (部門別→部門+税率) ✓ 発注~仕入計上変更 (伝票は税率別に分離処理) ✓ 在庫評価は本体化に統一 (従前は総額計算)
	【5】	インボイス対応	--- (なし)	インボイスへの対応 ✓ レシート・請求書への区分記載請求方式適用 (簡易方式)

3. 2019年度全体スケジュール

◆ 考慮すべき主なイベント 2019年～2020年

- ① 2019年3月1日 本体価格化対応
- ② 2019年10月1日 消費税増税・複数税率・イトイン対応・簡易インボイス
- ③ 2020年3月1日 割賦販売法対応稼働開始
2019年11月よりパイロット稼働開始
- ④ 2019年3月、6月、9月、2020年3月全国地域法人統合実施
(北海道、東北、中部中京、関西中四国、九州)

◆ ZEDI対応については、上記イベントを考慮し、2019年10月の消費税増税対応後、着手予定で検討中です。

イオンアイビス株式会社

〒261-8515
千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
Tel. 043-212-6284

